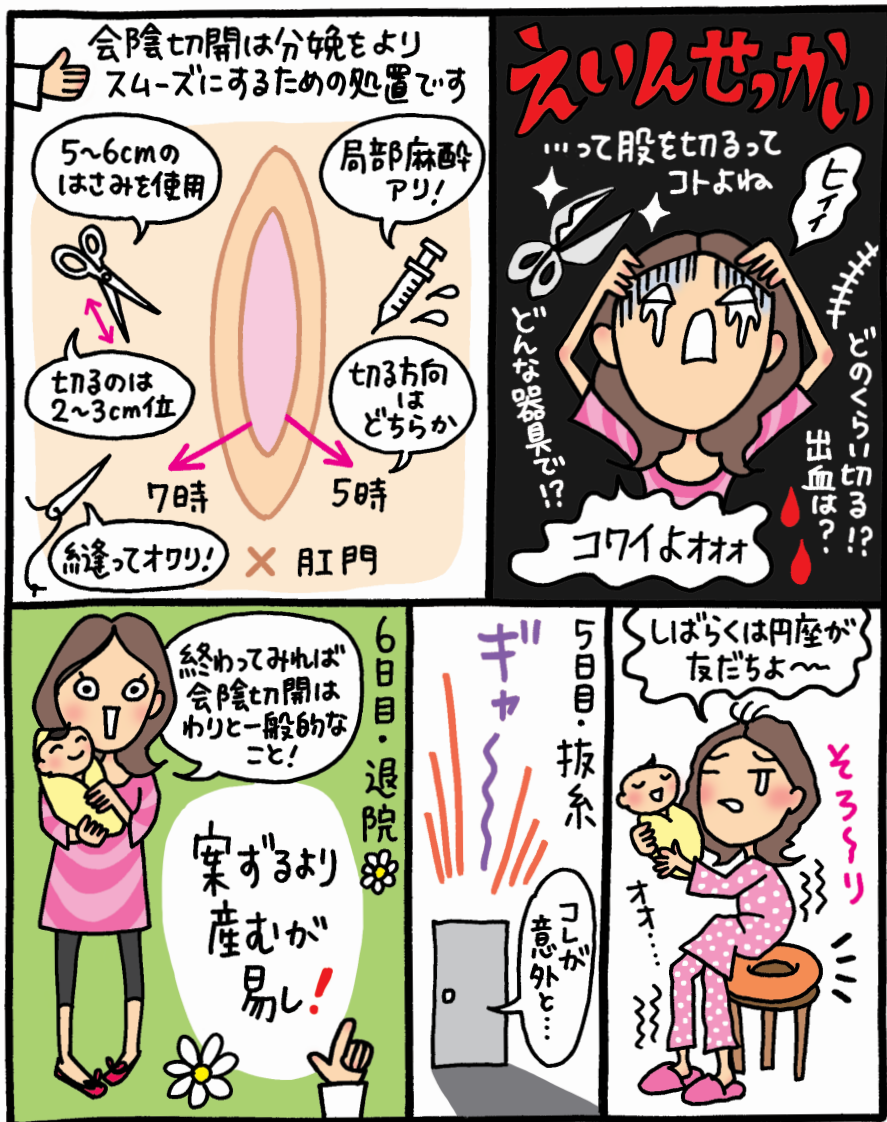




# えいんせっかい 会陰切開って、必ず しなきゃいけないの？



全員がするわけではありません。  
お産を早く終了する必要がある時に。

- 通常は会陰部が十分伸びるのを待ちつつ、裂けてしまうことがないように赤ちゃんを取り出したいのですが、赤ちゃんの心音に異常があり、早くお産にしてあげたい時や、「吸引分娩」や「鉗子分娩」を選択する場合には、会陰切開を行うことになります。
- 会陰切開は分娩中に局部麻酔の注射をしてから行います。無痛分娩を選択していて麻酔効果が十分得られている場合にはそのまま切開を行います。
- 切開は5時の方向・7時の方向のパターンがありますが、そのときの状況によって医師の判断で選択します。切開の長さは赤ちゃんの頭の大きさや会陰の伸び次第で決まりますが、だいたい2〜3センチ程度です。
- 赤ちゃんが産まれて後産をすませた後、切開の傷と自然にできた裂傷部を縫合します。痛みが強い場合は局所麻酔を追加することも可能です。入院中しばらくは縫合部の痛みが続きますが、5日めの退院時診察の際に抜糸をします。